

元に戻ってしまいました!



代表 小林光夫

いつもお世話になります!!
寒い日が続きますが、春に向けて住宅改修も動き出すことかと思えます。ご紹介した社員のブログなどまたご覧下さい! 施工例も出来る限り更新しています。

施工例満載のホームページ!!

シニアハウスプラン「みんなのブログ(日記)」

ごらんになってない方は是非一度!

特集! スロープ

今回は屋外のスロープに触れてみます。

POINT 1 材質はどんなものがあるか?なぜ選ぶのか?

コンクリート

- 安価で設計が自由である。
- 耐久性がある
- ざらつき具合を調整できるなどの利点があり良く使います。必要がなくなれば撤去したいなどの御要望がある場合撤去に結構な費用が掛かります。



タイル

- 見栄えが良い。という利点以外はコンクリートと同じです。最近では30cm角のテラコッタ調などでノンスリップがあります。しかし急勾配1/6以上では雨に濡れたときノンスリップと言えども不向きであると考えています。



デッキ

- 安価で設計が自由である。
- 手すりもセットで組み込めるため、手すり込みで考えるとコンクリートなどより安価で出来る。
- 撤去が容易である。
- 耐久性は条件によるがコンクリートやタイルに比べると低い。これも急勾配は向きません。(ノンスリップテープを併用する場合があります)



材質はその他石材やレンガ、インターロッキングなど多種ございます。

POINT 2 勾配とその基準は?

各家庭の介助量・身体状況の変化、そのスピード・自走、歩行、介助などの諸条件など将来設定や介護サービス・通院の頻度も見据えて設計します。試すのが一番早い!(当社デモあり)
大まかですが最低1/8(高さに対して8倍のスロープ)は最低どの条件でもほしいですね。(高さ50cmなら4mのスロープ部分)

1月の施工例 (ごく一部) 1月施工実績 47件

居室を嵩下げしバリアフリーに!



和室のみ15cm上がっておりその一室を寝室として使われていました。トイレも非常に遠回りな上に途中段差も多く急激なADLの変化に歩行器などで対応できませんでした。一室の段差のみを下げ、その他の段差も部分的に無くすことで動線内はバリアフリーになり非常に日常生活の質が向上しました。トイレも壁を破

工事前

15cmの段差

工事後

部屋ごと下げました。

2011. 01. 28

工事後

建具はさすがに新しくしました。

2011. 01. 28

工事後

寝室のみ-15cmに

工事前

壁を抜いて引き戸をつけました。

2011. 01. 14

工事後

トイレは15cm嵩上げ。

色々な工事!!

工事前

砂利では移動しにくかったため通路部分のみコンクリートを打ちました。

2011. 01. 05

工事後

2011. 01. 25

工事前

既設の段を触らずに上からかぶせて段差緩和と手すり設置をしました。

工事後

2011. 01. 14



<p>土壁でも写真のように補強下地を入れれば余裕で取り付けが出来ます♪</p>	<p>歩行器専用で幅広仕様! 手すりはいらない? 転落防止です。</p>	<p>屋外の両壁にロング手すり! 多少の凹凸もヘッチャラです。</p>	<p>テラス工事 リフト設置したお宅にテラスも設置しました!</p>
-----------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------------